

改革で「羽村教育ビジョン」の策定を提案した。今後の取り組みについて伺う。

教育長 新しい時代を見据えた羽村の教育の理念を示し、この理念を踏まえ、市全体をとらえた生涯学習基本計画を策定し、羽村市が目指す教育ビジョンとして位置付ける。平成24年度からスタートさせていく。

質問 市長の考え、決意を聞く。

市長 羽村市が何より教育を大切にするという考えに立ち、羽村らしさを生かした新たな教育の出発点とすべく、全市を挙げて羽村の教育ビジョンとなる計画の策定に取り組んでいく。

質問 介護保険は3年置きの事業計画の策定が義務付けられており、高齢者の福祉や介護の一体的な計画策定を求められている。平成21年度の介護保険事業計画策定に当たり、どのような課題があるか。

市長 課題は慢性期の病院である療養病床の転換の見通しが立っていないこと、介護給付費の伸びが予想され、保険料への影響が懸念されること、報酬改定によるさまざまな影響などである。

○その他、介護報酬3%引き上げの効果と影響、駅周辺の自転車駐輪場対策について質問しました。

なかはら まさゆき
中原 雅之 議員
(日本共産党)



◇米軍横田基地返還の運動を ◇神明緑道の整備を

米軍横田基地の再編強化に反対し、 基地返還の運動を

質問 米軍横田基地への航空自衛隊航空総隊司令部移転工事について、市はどのように情報収集しているか。

市長 工事の進捗状況や工事内容等の変更等、逐次、防衛省北関東防衛局から説明を受けており、今後も早急・正確な情報提供を防衛省に対し要請していく。

質問 日米共同統合運用調整所が航空総隊司令部棟に設置されることについての市長の見解は。

市長 在日米軍再編、自衛隊の移駐は国の専管事項である国防上の措置であ

り、見解を述べる立場にはない。

質問 横田基地の施設および機能の縮小、全面返還へ市民と共に取り組むべきでは

市長 横田基地の整理・縮小・返還という基本的な立場に立ち、基地に起因する影響と国の適正な対応について、基地周辺の5市1町で共同して要請していく。

神明緑道の整備を

質問 不法投棄されたごみを片付け、植栽を工夫し、神明緑道に関連する羽村・村山線導水管や、羽村山口軽便鉄道などの歴史、役割がわかる看板を掲げるなど、整備を進めるべきでは。

市長 神明緑道は東京都水道局から用

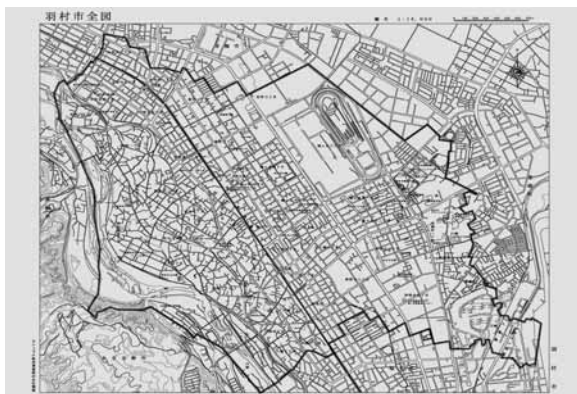
地を無償で借り上げ、都の補助を受け緑地として整備し、羽村市で管理している。引き続き良好な環境整備に努める。看板については、今後、羽村・村山線導水管、羽村山口軽便鉄道、玉川上水第三水門などに関する教育委員会での研究から、正確な史実が明らかになってきた段階で改めて検討する。

質問 これらについて積極的に資料収集に努め、記録を残すべきでは。

市長 現在、詳しい資料などは十分に整っていないので、教育委員会と連携し、歴史の記録や環境整備に努めていく。



▲神明緑道



▲羽村市全図

羽村市と隣接市町との行政界について
質問 平成5年の小作台土地画整理事業完成時点で、行政界の変更については、どのような協議をしたか。
市長 昭和58年に羽村町（当時）・青梅市・東京都新都市建設公社の三者で行政界変更案を作成した。その後、行政界

はまなか としお
濱中 俊男 議員
 （新政会）



◇隣接市町との行政界について
 ◇薬物乱用防止対策について

変更を平成10年に地区住民・地権者に周知したが同意を得られず、平成11年11月の施行予定を延期し、現在に至っている。
質問 将来、双葉町地区等において区画整理等の都市基盤整備が行われる場合、計画の初期段階から、行政界の問題を協議すべきと考えるが、いかがか。
市長 今後、隣接する自治体で都市基盤整備等が行われる場合には、初期の段階から行政界の問題を念頭に置いて取り組んでいく。
薬物乱用防止対策について
質問 羽村市の薬物乱用の状況は、警察よりどう聞いているか。
市長 平成19年は、羽村市内での検挙は2件あったが、市民ではないのとこのことである。
質問 教育委員会が主導し、計画的に小中学生に教育するようにすべきと考えるがいかがか。
教育長 薬物乱用の低年齢化が危惧さ

加美地区の道路状況について
質問 栄町地区から羽加美地区を結ぶ立体交差の開通に伴う、住宅地への自動車進入抑制の施策は。
市長 新奥多摩街道との交差点付近に青梅方面と福生方面に振り分ける標識の設置をする。また、奥多摩街道へ通り抜ける車両が想定されるので、住居関係者以外の一般車両の進入規制等、安全対策を福生警察署に要請していく。
質問 都市計画道路3・4・16号線の未整備区間の今後の見通しは。
市長 現在、奥多摩街道から羽加美一丁目までの約480mが未整備であり、優先的に整備していく路線として位置付けている。整備に当たっては関係権利者への説明に努めていくとともに、建物補償や整備手法、その他の具体的な調査、検討を行っていく。
質問 奥多摩街道加美地区付近および間坂交差点付近の整備計画の進捗状況は、どのように聞いているか。

はしもと ひろたか
橋本 弘山 議員
 （新政会）



◇加美地区の道路状況について
 ◇自転車の交通事故対策について
 ◇防災行政無線の今後のあり方

市長 加美地区付近の整備計画は、小学校周辺の約450mを整備拡幅するもので、平成17年3月に計画案説明会が開催され、現在に至っている。間坂交差点付近の整備計画は、交差点を中心約230mの整備拡幅および右折レーン設置の計画である。現在、路



▲工事が進む3・4・16号線の立体交差

れている現在、薬物から児童・生徒を守る教育は大変重要と考えている。今後、関係機関との連携を図りながら、指導の充実を図っていく。

いちかわ えいこ
市川 英子 議員
(日本共産党)



◇苦勞の多い子育てに支援を
◇中小零細業者・弱者への支援を
◇安全のため私道にも街路灯を
◇川崎地域の購入予定地について

子育て支援について

質問 妊産婦健診の公費負担回数増を。
市長 今後、財源の確保を含め検討する。
質問 都外、助産院でも公費で健診を。
市長 来年度の予算編成に向け検討する。
質問 「子どもの無保険証」問題について、羽村市の場合はどうなっているか。
市長 中学生までの子どもがいる世帯は資格証明書交付対象から外している。
質問 学童クラブの定員数は何人程度が適切と考えて運営しているか。
市長 定員は施設の規模に応じて受け入れ可能な範囲で弾力的な対応を図っている。今後も規模、待機児童の解消

に配慮しながら適切に運営していく。

質問 公立福生病院に新生児集中治療室を設置し、周産期センターの開設を。
市長 病院の基本構想の想定を超えた機能であり、医療人材の確保、建物の構造、組織市町の財政負担等を含め課題が多い。
中小零細業者・弱者への緊急生活支援の実施をすべき
質問 生活保護世帯へ経済的支援を。
市長 改めて経済的支援を行う考えはない。
質問 低所得者向け緊急福祉資金の開設を。
市長 既存の制度の利用が十分可能であることから、考えていない。

線・用地測量が完了し、今後、用地説明会を実施する計画である。東京都は、危険性の高い間坂交差点付近から工事に着手していくことである。

行政防災無線の今後のあり方について

質問 防災行政無線をどう改善していくのか、また、デジタル化についての方

向性は。

市長 第四次長期総合計画にデジタル化の検討を位置付け、既に調査、研究を行っている。設置から25年が経過し、老朽化が進んでいるため、平成22年度までに、デジタル化も含めた防災行政無線全体の再整備の計画案を作成していく。

質問 サラリーマン、主婦、高齢者等の生活実態に見合った具体的支援を。

市長 生活安定支援につながるものと考え、プレミアム付きの市内共通商品券の発行を行う。

質問 農業振興資金融資の新設を。

市長 各種事業に対し補助金の交付や利子補給を行っているため、考えていない。
私道にも街路灯の設置を

質問 私道に街路灯の設置をすべきでは。

市長 利用者の負担で設置いただいている。
川崎地域(三中隣)の購入予定地について

質問 この土地の活用方法は。
市長 市民の意見を聞き、検討する。



▲休日の親子連れ（羽村市動物公園）



▲フレッシュランド西多摩

「元気高齢社会」の実現を
質問 住宅用火災警報器の設置義務付けのPRと新たな詐欺を防ぐ対策は。
市長 警報器購入に当たり、電池切れ警告機能等を備えた検定協会鑑定マーク付きを選ぶよう通知している。福生消防署より販売業者に高齢世帯の設置

まで含んだ対応を要請する。
質問 定期的に一人暮らしの高齢者同士の食事を開催してはどうか。
市長 来年度から一人暮らし高齢者事業として計画的に実施していきたい。
質問 フレッシュランド西多摩の入館者が平成20年4月11日に100万人を達成した記念に、毎年4月11日と9月11日に70歳以上の方のお風呂を「無料の日」とするとともに、構成市町での「転倒予防教室」等の合同開催を関係機関に申し入れては。
市長 新たなイベントとして実施が可能か西多摩衛生組合での検討を要請したい。
「地球温暖化対策」の推進を
質問 環境省のエコ・アクション・ポイント事業を市民の行動につなげる取り組みを。
市長 同事業は今後全国的な広がりが見込まれる。市内の商店等が参加できる仕組みづくりが可能か研究していく。
質問 温暖化防止のための「環境基金」を設置し、市民に募金を募っては。

にしかわ みさほ
西川美佐保 議員
 (公明党)



◇「元気高齢社会」の実現を
 ◇「地球温暖化対策」の推進を
 ◇出産時の救急医療体制を

質問 コミュニティビジネスは、実践事業的地域活動で、地域振興の旗手と考えるが、羽村市の考えはどうか。
市長 地域の住民が主体となつて、ビジネス手法を活用しながら、地域の課題解決に取り組み、地域を活性化する事業で、有効策であると認識している。
質問 羽村駅周辺・小作駅周辺・マミーショッピングセンターの各商店街の特徴・機能について、地域づくりの観点からどのようにとらえているか。
市長 両駅周辺の商店会は、消費者の利便性の向上や地域商業の活性化、住民の交流の場の確保、にぎわいを創出するなどの機能がある。マミーショッピングセンターについても地域住民の利便性を向上させ、住民の交流の場となるコミュニティ機能を持った地域密着型の商店街であると認識している。
質問 各商店街への支援策はどうか。
市長 商工会への補助金を通じた支援、市からの直接支援や、企業活動支援員

ふなき よしのり
船木良教 議員
 (新国会)



◇地域活性化策について



▲マミーショッピングセンター

による支援を行っている。
質問 各商店街の活性化を地域全体の活性化へと発展させるコミュニティビジネスへの取り組みはどうか。
市長 地域課題の認識、取り組み機運の醸成、人材等の育成が必要である。情報提供や若手人材育成など、これま